横浜市立大学国際総合科学部履修規程

制 定 平成 24 年 4 月 1 日規程第 192 号 最近改正 令和 2 年 4 月 1 日規程第 5 号

(目的)

第1条 この規程は、横浜市立大学学則(以下「学則」という。)及び横浜市立大学国際総合科学部通則(以下「通則」という。)に基づき、国際総合科学部(以下「本学部」という。)における授業科目の履修などについて必要な事項を定めることを目的とする。

(専門教養科目の履修方法)

第2条 通則第3条及び第11条に規定する、本学部の授業科目及び卒業要件は、別表の とおりとする。

(履修申請)

- 第3条 本学部の学生は、学期の始めの定められた期間内に、その学期中に履修しようとする授業科目を所定の手続きにより申請しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、前期においては、後期の科目も含め申請することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、4年次生は、学年の始めの定められた期間内に、その 学年中に履修しようとする授業科目を申請しなければならない。
- 4 やむを得ない理由により、所定の期間内に履修申請を行うことができない場合は、 その理由を付して学部長に届け出なければならない。

(履修申請の変更)

- 第4条 定められた期間を過ぎてからの履修申請内容の変更は、原則として認めないものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号に定める場合は、所定の期間内に履修内容の変 更を申請することができる。
- (1) 卒業又は進級にかかわる科目で当該学期に単位を取得しないと卒業又は進級が 不可能となる場合
- (2) 教員免許状取得に必要な科目で次学期以降の履修が不可能な場合
- (3) 履修の取り消しのみの変更の場合
- 3 前項第3号において、取り消すことができる授業科目は2科目6単位以内とする。 ただし、「Practical English」及び「教養ゼミ」は取り消すことができない。
- 4 第2項の規定にかかわらず、学部長がやむを得ない理由があると認めた場合は、所 定の期間を経過後も履修の取り消しの申請をすることができる。その場合においては、 前項の規定は適用しない。
- 5 履修内容の変更の可否については、教務委員会の議を経て、学部長が決定する。 (履修の制限)
- 第5条 次の各号に定める授業科目については、履修することができない。
 - (1) 履修登録していない授業科目(履修登録手続きに不備又は誤りがあった場合も同

様とする。)

- (2) 同一授業時間に開講されている授業科目のうち一方
- (3) 既に単位を修得した授業科目
- (4) クラス指定のある科目の指定以外のクラスでの履修
- (5) 履修要件を満たしていない授業科目
- 2 専門教養ゼミ及び卒論演習の履修は、各学期1科目を原則とする。ただし、休学を 伴わない留学やコース変更など、学部長が特別の事情があると認めた場合は、同一の 学期に2科目を履修することができる。
- 3 国際教養学系、国際都市学系及び経営科学系の学系内においては、コースにおいて 学生の学習上必要と認められた場合は、学生の所属するゼミの専門教養ゼミに加え、 コース内の他のゼミ及び他コースの専門教養ゼミについて、8単位を限度に、第2条 に規定する別表に掲げたコース展開科目として位置づけ、履修を認めることができる。 (試験)
- 第6条 本学部における試験は次のとおりとする。
 - (1) 各学期末に行う試験
 - (2) 前号以外に授業担当者が不定期に行う試験(実技・実習を含む)
 - (3) 論文 (レポート) その他による考査
- 2 履修登録を行っていない授業科目は、試験を受けることができない。

(追試験)

- 第7条 通則第9条第3号に規定する追試験の受験を申請できる病気その他やむを得ない理由とは、次のとおりとする。
 - (1) 天災又は自宅の火災
 - (2) 2親等以内の親族の危篤又は死亡
 - (3) 交通機関の30分以上の遅延又はストライキ
 - (4) 本人の病気又はケガ
 - (5) 裁判員制度による裁判員(候補者を含む)に選出されたことによる裁判所出頭
 - (6) 教員免許状の取得にかかる教育実習及び介護等体験などへの参加
 - (7) 横浜市内大学間単位互換先の試験との日程重複
- 2 追試験の受験を希望する学生は、当該試験終了後1週間以内に追試験の受験を申請しなければならない。ただし、当該試験終了1週間後にあたる日が教育推進課の窓口休業日の場合は、最後の窓口開設日までとする。
- 3 追試験の対象は、前条第1項第1号に規定する「各学期末に行う試験」とする。
- 4 追試験の受験の可否については、学部長が決定する。

(試験における不正行為)

- 第8条 学生が試験において不正行為を行った場合は、学則第34条に規定する懲戒処分の対象とするとともに、次に定めるいずれかの教務上の措置をとり、学籍簿にも記載する。
 - (1) 当該学年で履修した全ての科目を零点とする。
 - (2) 当該学期に履修した全ての科目を零点とする。
 - (3) 演習科目、実験科目、実習科目を除く当該学期に履修した全ての科目を零点と

する。

- (4) 当該学期に履修した科目のうち全ての期末教場試験科目を零点とする。
- (5) 当該科目を零点とする。
- 2 筆記試験において、次の各号のような状況があるときは不正行為があったものと みなす。
- (1) 許可された以外の物を参照したとき。
- (2) 本人に代わって他人が受験したとき。
- (3) 答案用紙を試験場外に持ち出したとき。
- (4) 許可された以外のものを机上または机の中等の手の届く範囲に置いたとき。
- (5) その他、監督者による不正行為に関する具体的な注意に反したとき。
- 3 論文及びレポートにおいて、次の各号のような状況があるときは不正行為があったものとみなす。
- (1) 他の者が作成した論文及びレポートを提出したとき。
- (2) 出典を明記しないで引用したとき。
- (3) 引用箇所と自分の文章を区別せず引用したとき。

(学系及びコース選択の際の前提科目)

- 第9条 通則第7条第2項に規定する、学系及びコースを選択するにあたり単位を修 得しておくべき授業科目及び単位数は以下の各号のとおりとする。
 - (1) 国際教養学系、国際都市学系及び経営科学系の各コースについては、第2条に 規定する別表に掲げた各コースの卒業要件となる共通教養科目のうち、3科目6 単位以上
 - (2) 理学系の各コースについては、第2条に規定する別表に掲げた各コースの卒業 要件となる共通教養科目のうち、2分野以上から6単位以上

(コース変更)

- 第10条 学生は、2年次に所定のコースに進級した後も、他コースに変更することができる。
- 2 コース変更の際の前提科目は、前条に準じる。
- 3 学系内のコースにコース変更した学生については、通則第 11 条第 2 項第 3 号の規 定にかかわらず、変更前のコースにおいて取得した専門教養ゼミの単位数を、変更 後のコースの単位数として卒業単位数に算入することができる。
- 4 前項の規定にかかわらず、理学系の学生が、理学系内のコースにコース変更した場合は、あらためて変更後のコースにおいて専門教養ゼミを履修し、単位を取得しなければならない。その場合、変更前のコースにおいて取得した専門教養ゼミの単位数は、学系及びコースが認めたときは、第2条に規定する別表に掲げたコース展開科目として卒業要件に算入することができる。
- 5 学系を越えてコース変更した学生については、原則として、変更後のコースにおいて専門教養ゼミを新たに履修し、単位を取得しなければならない。その場合、変更前のコースにおいて取得した専門教養ゼミの単位は、自由科目の扱いとし、卒業単位数に算入しない。
- 6 コース変更の手続きなどについては、別に定める。

(公欠)

- 第11条 学生が次の各号に掲げる事由で授業を欠席する場合は、届出書及び証明書を 提出することにより、公欠として取り扱い、授業に出席したものとみなす。
 - (1) 天災又は自宅の火災
 - (2) 2親等以内の親族及び配偶者の危篤又は死亡
 - (3) 交通機関の30分以上の遅延又はストライキ
 - (4) 学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する伝染病を発症した場合(ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めたときは除く)
 - (5) 裁判員制度による裁判員(候補者を含む)に選出されたことにより、裁判所に 出頭した場合
 - (6) 教員免許状の取得にかかる教育実習及び介護等体験などに参加した場合
 - (7) その他、学部長が認めた場合
- 2 前項第2号に定める事由により公欠として取り扱うことができる日数は、1親等の親族及び配偶者の死亡の場合は7日間以内、2親等の親族の死亡の場合は5日間以内とし、いずれも土曜日、日曜日及び祝日を含めた連続する日数で取り扱うものとする。なお、危篤の場合も同様の取り扱いとし、提出された届出書及び証明書に基づき、5日間又は7日間を超えない範囲で公欠として取り扱う日数を算定するものとする。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条、第5条第3項、第9条及び第10条(第1項及び第6項を除く。)の規定は、 平成24年4月1日以降に入学する学生について適用する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成25年10月1日改正)

(施行期日)

- 1 この規程は、平成25年10月1日から施行し、平成25年4月1日に遡って適用する。 (経過措置)
- 2 第2条に定める別表のうち、まちづくりコース、地域政策コース及びグローバル協力コースについては、平成24年4月1日以降に入学する学生について適用する。

附 則(平成26年4月1日改正)

(施行期日)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条に定める別表のうち、経済学コースについては、平成24年4月1日以降に入

学する学生について、平成25年4月1日に遡って適用する。

附 則 (平成28年規程第73号) この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年規程第6号) この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年規程第5号) この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和2年規程第5号) この規程は、令和2年4月1日から施行する。

別表 共通教養

分類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件	分類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
刀规	17 日 41	十匹奴	ARIS I IX	2講義4単位必修(うち2単位	刀规	Topics in Modern Psychopathology	2	1.2.3.4	十未女厅
総合	総合講義	2	1.2.3.4	は地域志向科目)		日本史の方法	2	1.2.3.4	
講義	ስር H H44%	_		4講義8単位までを卒業要件 に算入		世界史の方法	2	1.2.3.4	
佐田鎌欧	特別講座	2	1.2.3.4			倫理学	2	1.2.3.4	
_	教養ゼミ	4	1.2.3.4	必修(いずれかの科		英語学A	2	1.2.3.4	
				目の単位取得が2年次	#				
基礎でミ	基礎ゼミ	2	1.2.3.4	への進級要件)	基	英語学B	2	1.2.3.4	
	Practical English	3	1.2.3.4	必修(単位取得が3年次への進級要件)	礎	英米文学A	2	1.2.3.4	
	Advanced Practical English I	2	1.2.3.4			英米文学B	2	1.2.3.4	
語	Advanced Practical EnglishⅡ	2	1.2.3.4		科	日本事情I	2	1.2.3.4	
пП	Advanced Practical EnglishⅢ	2	1.2.3.4		学	日本事情Ⅱ	2	1.2.3.4	
学	Advanced Practical EnglishIV	2	1.2.3.4		7	English Grammar for Higher Education	2	1.2.3.4	
	Advanced Practical EnglishV	2	1.2.3.4		講	日本国憲法	2	1.2.3.4	
	Advanced Practical EnglishVI	2	1.2.3.4		24	反応の化学	2	1.2.3.4	
Or also II a	Advanced Practical English VI	2	1.2.3.4		義	生体分子と細胞	2	1.2.3.4	
多文化 交流ゼミ	多文化交流ゼミ	2	1.2.3.4			遺伝と進化	2	1.2.3.4	
ケー情	情報コミュニケーション入門	1	1.2.3.4	必修		科学史	2	1.2.3.4	
シ報	プログラミング基礎	1	1.2.3.4			病気を科学する	2	1.2.3.4	
3 3	マルチメディア表現基礎	1	1.2.3.4	1単位選択必修		課題探究科目	2	1.2.3.4	
科 _	情報検索基礎	1	1.2.3.4	1十四四八元顺		情報倫理	2	1.2.3.4	
E	データ分析基礎	1	1.2.3.4			中国語教養基礎 I ※	3	1.2.3.4	
	歴史学入門	2	1.2.3.4			中国語教養基礎Ⅱ※	3	1.2.3.4	
	社会学入門	2	1.2.3.4			中国語教養実践A※	1	1.2.3.4	
	地理学入門	2	1.2.3.4			中国語教養実践B※	1	1.2.3.4	
	心理学入門	2	1.2.3.4			中国語教養実践C※	1	1.2.3.4	
	文化研究入門	2	1.2.3.4			中国語中級※	1	1.2.3.4	
	思想研究入門	2	1.2.3.4			韓国・朝鮮語教養基礎 Ι ※	3	1.2.3.4	
	文学研究入門	2	1.2.3.4			韓国・朝鮮語教養基礎Ⅱ※	3	1.2.3.4	
	政治学入門	2	1.2.3.4			韓国·朝鮮語教養実践A※	1	1.2.3.4	
	行政学入門	2	1.2.3.4			韓国・朝鮮語教養実践B※	1	1.2.3.4	日欧男美学での労
	国際社会論入門	2	1.2.3.4		外	韓国・朝鮮語教養実践C※	1	1.2.3.4	国際教養学系の学 生は、原則※のい
	経済学入門 I	2	1.2.3.4		/ /	韓国・朝鮮語中級※	1	1.2.3.4	ずれか1言語の「教
	経済学入門Ⅱ	2	1.2.3.4		国	ドイツ語教養基礎 I ※	3		養基礎 I および
	簿記入門 I	2	1.2.3.4		⇒ ±	ドイツ語教養基礎Ⅱ※	3	1.2.3.4	「教養基礎Ⅱ」の6
	簿記入門Ⅱ	2	1.2.3.4		語	ドイツ語教養実践※	3	1.2.3.4	単位を卒業要件に 算入。ただし、既
	経営学入門 I	2	1.2.3.4		科	ドイツ語中級※	1	1.2.3.4	習者については別
	経営学入門Ⅱ	2	1.2.3.4			フランス語教養基礎 I ※	3	1.2.3.4	途定める(2017年
	法学入門	2	1.2.3.4		目	フランス語教養基礎Ⅱ※	3	1.2.3.4	度以降入学生)。
基	民法入門	2	1.2.3.4			フランス語教養実践※	3	1.2.3.4	
	社会統計学 I	2	1.2.3.4			フランス語中級※	1	1.2.3.4	
礎	社会統計学Ⅱ	2	1.2.3.4			スペイン語教養基礎 I ※	3	1.2.3.4	
科	社会システム入門	2	1.2.3.4			スペイン語教養基礎Ⅱ※	3	1.2.3.4	
	微分と積分	2	1.2.3.4			スペイン語教養実践※	3	1.2.3.4	
学	微分と積分演習	1	1.2.3.4			スペイン語中級※	1	1.2.3.4	
≑ #≭	行列とベクトル	2	1.2.3.4			日本語 I -1	2	1.2.3.4	
講	行列とベクトル演習	1	1.2.3.4			日本語 I -2	2	1.2.3.4	
義	力と運動	2	1.2.3.4			日本語Ⅱ-1	2	1.2.3.4	
	力と運動演習	1	1.2.3.4			日本語Ⅱ-2	2	1.2.3.4	
	電気と磁気	2	1.2.3.4			福祉施設実習	1	1.2.3.4	
	電気と磁気演習	1	1.2.3.4			健康スポーツ実習	1	1.2.3.4	
	化学結合と構造	2	1.2.3.4		実	キャリア形成実習	1	1.2.3.4	
	環境の基礎化学	2	1.2.3.4			環境保全農業実習	1	1.2.3.4	
	生命の機能	2	1.2.3.4		践	自然体験実習	1	1.2.3.4	
	自然科学基礎実験A	1	1.2.3.4		₹VI	アクティブ・プランニング実習	1	1.2.3.4	
	自然科学基礎実験B	1	1.2.3.4		科	長期海外研修(前期)	2	2.3.4	
	自然科学基礎実験C	1	1.2.3.4		目	長期海外研修(後期)		2.3.4	
	統計と確率	2	1.2.3.4			短期海外研修(夏季)		1.2.3.4	
	が計と唯争 リメディアル講座	0	1.2.3.4						
	生物学入門	2	1.2.3.4		—	短期海外研修(冬季・春季)		1.2.3	
	生物字八門 グレートブックスセミナー	2	1.2.3.4			(養科目のうち他学系の専門			
		_				 科学系については他コース) 10単位までを共通教養科			
	英米文化理解A	2	1.2.3.4)10単位よくを共通教養科 (に算入できる。	пv	心女	
	英米文化理解B	2	1.2.3.4			·			
	心を科学する	2	1.2.3.4			卒業に必要な単位数 (必修科目を含む)			50単位
<u></u>	Introduction to Psychology	2	1.2.3.4			(必修作日を召び)			

人間科学コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対象となる共通教養科目	卒業要件
歴史学入門、社会学入門、心理学入門、文化研究入門、思想研究入門、文学研究入門、国際社会論入門、 倫理学、日本国憲法、課題探究科目(歴史から今を知る)、課題探究科目(健康スポーツ科学)	10単位選択必修
初習外国語のうち1つの言語の「教養基礎Ⅰ」、「教養基礎Ⅱ」 ただし、既習者については別途定める(2017年度以降入学生)	上記に加えて6単位 ただし、既習者につ いては別途定める (2017年度以降入学 生)

分		科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	学	人間科学論	2	2	7 2132 371
	系基	社会関係論	2	2	4単位選択必修
	幹 科				中区医八名。同
	目	国際文化論	2	2	
		現代哲学	2	2.3.4	
		現代倫理学	2	2.3.4	
		心理学	2	2.3.4	
		精神分析	2	2.3.4	8単位選択必修
		身体科学	2	2.3.4	
		文化人類学	2	2.3.4	
		発達心理学	2	2.3.4	
	コ	現代教育論	2	2.3.4	
		社会理論	2	2.3.4	
	i i	社会福祉論	2	2.3.4	
	ス	現代社会論	2	2.3.4	
	基	多文化社会論	2	2.3.4	
	左	日本社会史 欧米社会史	2	2.3.4	
	幹	アジア社会史	2	2.3.4	
	∞ 1	経済社会論	2	2.3.4	
専	科		2	2.3.4	8単位選択必修
	目	コミュニケーション論 エスニシティ文化論	2	2.3.4	
門		比較文化論	2	2.3.4	
教		言語学	2	2.3.4	
3.		日本語文学	2	2.3.4	
養		文化交流史	2	2.3.4	
科		日本文化史	2	2.3.4	
17		文芸批評論	2	2.3.4	
目		表象文化論	2	2.3.4	
		現代の人間論1	2	2.3.4	
		現代の人間論2	2	2.3.4	
		生命倫理学	2	2.3.4	
		Topics in Moral Philosophy	2	2.3.4	
	コ	社会思想	2	2.3.4	
		文化生態学A	2	2.3.4	
		文化生態学B	2	2.3.4	
	→	東洋思想A1	2	2.3.4	
	ス	東洋思想A2	2	2.3.4	
	展	東洋思想A3	2	2.3.4	
		パーソナリティ心理学	2	2.3.4	
	開	ロール・プレイング	2	2.3.4	
	科	集団心理療法	2	2.3.4	
		心理学実験法	2	2.3.4	
	目	臨床心理学	2	2.3.4	
		心理学観察法	2	2.3.4	
		心理学調査法	2	2.3.4	
		人体環境適応論	2	2.3.4	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
Ť		生活健康論	2	2.3.4	7 3732 377
		スポーツ文化論	2	2.3.4	
		生理人類学	2	2.3.4	
		生体情報論			
		身体文化論	2	2.3.4	28単位選択必修
		身体運動論	2	2.3.4	
	コ	トレーニング科学A	2	2.3.4	
		トレーニング科学B	2	2.3.4	
		日本思想史	2	2.3.4	
	ス	西洋思想	2	2.3.4	
		現代思想	2	2.3.4	
	展	社会心理学	2	2.3.4	
	開	宗教学	2	2.3.4	
	נזכן	東洋思想B	2	2.3.4	
	科	オルタナティブ教育論	2	2.3.4	
	目	外書講読	2	2.3.4	
	Ħ	特講	2	2.3.4	
		別表社会関係論コースのコー	ス展開	科目	
		別表国際文化コースのコース	展開和	計目	
専		副演習 I	2	2	
門		副演習Ⅱ	2	2	
		副演習Ⅲ	2	3	
教		副演習IV	2	3	
養		環境教育論	2	2.3.4	
R		世界都市論	2	2.3.4	
科	コ	参加•協働論	2	2.3.4	
目		男女共同参画社会論	2	2.3.4	
н		比較地方自治	2	2.3.4	
	7	地方政治論	2	2.3.4	
	ス	地域情報化とまちづくり	2	2.3.4	
	関	ヨーロッパの地域政策	2	2.3.4	12単位選択必修
	\	社会保障論	2	2.3.4	
	連	経営史	2	2.3.4	
	科	経済思想史	2	2.3.4	
	_	社会科学の方法 I 社会科学の方法 II	2	2.3.4	
	目	語学演習	1	2.3.4	
		学系基幹科目、コース基幹科目、			
		予系差許付日、コース差許付日、 科目のうち必要単位数を超えて値			
	専 門	演習 I	2	2	
	教	演習Ⅱ	2	2	8単位必修
	養ぜ	演習Ⅲ	2	3	○→□□河川
	3	演習Ⅳ	2	3	
	卒論	卒論演習 I	2	4	4単位必修
	論演習	卒論演習Ⅱ	2	4	4中144111111111111111111111111111111111
	字	卒業論文			2単位必修

社会関係論コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対象となる共通教養科目	卒業要件
歴史学入門、社会学入門、心理学入門、文化研究入門、思想研究入門、文学研究入門、国際社会論入門、 倫理学、日本国憲法、課題探究科目(歴史から今を知る)、課題探究科目(健康スポーツ科学)	10単位選択必修
加羽外国語のうな1への言語の「勤養其磔 I」 「勤養其磔 II」	上記に加えて6単位 ただし、既習者につ いては別途定める (2017年度以降入学 生)

分		科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	学系	人間科学論	2	2	
	基幹	社会関係論	2	2	4単位選択必修
	科 目	国際文化論	2	2	
		社会理論	2	2.3.4	
		社会福祉論	2	2.3.4	
		現代社会論	2	2.3.4	
		多文化社会論	2	2.3.4	
		日本社会史	2	2.3.4	8単位選択必修
		欧米社会史	2	2.3.4	
		アジア社会史	2	2.3.4	
	コ	経済社会論	2	2.3.4	
		コミュニケーション論	2	2.3.4	
		現代哲学	2	2.3.4	
	ス	現代倫理学	2	2.3.4	
	^	心理学	2	2.3.4	
	基	精神分析	2	2.3.4	
	-t-A	身体科学	2	2.3.4	
	幹	文化人類学	2	2.3.4	
	科	発達心理学	2	2.3.4	
専	_	現代教育論	2	2.3.4	8単位選択必修
門	目	エスニシティ文化論	2	2.3.4	
L.1		比較文化論	2	2.3.4	
教		言語学	2	2.3.4	
٠.		日本語文学	2	2.3.4	
養		文化交流史	2	2.3.4	
科		日本文化史	2	2.3.4	
		文芸批評論	2	2.3.4	
目		表象文化論	2	2.3.4	
		社会学	2	2.3.4	
		現代日本社会論1	2	2.3.4	
		現代日本社会論 2	2	2.3.4	
		現代日本社会論3	2	2.3.4	
	コ	現代日本の社会問題	2	2.3.4	
		ディスコース研究	2	2.3.4	
	I	社会言語論 1	2	2.3.4	
	ス	社会言語論 2	2	2.3.4	
		Elements of Prose	2	2.3.4	
	展	文化社会学1	2	2.3.4	
	開	文化社会学2	2	2.3.4	
		文化社会学3	2	2.3.4	
	科	国際経済社会論	2	2.3.4	
	目	国際人権法A	2	2.3.4	
	H	国際人権法B	2	2.3.4	
		国際法A	2	2.3.4	
		国際法B	2	2.3.4	
		東南アジア社会論	2	2.3.4	
		東南アジア史	2	2.3.4	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
Ħ		ヨーロッパ史 A1	2	2.3.4	
		ヨーロッパ史 A2	2	2.3.4	
		ヨーロッパ史 B1	2	2.3.4	
		ヨーロッパ史 B2	2	2.3.4	
		ヨーロッパ社会史 1	2	2.3.4	
		ヨーロッパ社会史2	2	2.3.4	
		都市発達史	2	2.3.4	
		日本近現代社会史A	2	2.3.4	
		日本近現代社会史B	2	2.3.4	
		地域福祉論	2	2.3.4	
		世界の福祉	2	2.3.4	
		福祉NPO論	2	2.3.4	
		障害者福祉論	2	2.3.4	
		アメリカ社会A	2	2.3.4	
		アメリカ社会B	2	2.3.4	
		ヨーロッパ社会	2	2.3.4	
		現代中国社会A	2	2.3.4	
		現代中国社会B	2	2.3.4	
	コ	芸術社会論	2	2.3.4	
専		南アジア社会論	2	2.3.4	
門		中東社会論	2	2.3.4	
11	ス	アフリカ社会論	2	2.3.4	
教		ラテン・アメリカ社会論	2	2.3.4	
*	展	アメリカ史	2	2.3.4	
養	開	現代韓国朝鮮社会論A	2	2.3.4	
科	1213	現代韓国朝鮮社会論B	2		28単位選択必修
	科	ナショナリズム論	2	2.3.4	
目	目	高齢社会論A	2	2.3.4	
	P	高齢社会論B	2	2.3.4	
		情報社会論A	2	2.3.4	
		情報社会論B	2	2.3.4	
		アジア近現代史	2	2.3.4	
		東アジア社会論	2	2.3.4	
		歴史学	2	2.3.4	
		ジェンダー論	2	2.3.4	
		家族社会学A	2	2.3.4	
		家族社会学B	2	2.3.4	
		日本史	2	2.3.4	
		世界史	2	2.3.4	
		外書講読	2	2.3.4	
		特講	2 思明 #	2 • 3 • 4	
		別表人間科学コースのコース			
		別表国際文化コースのコース			
		副演習I	2	2	
		副演習Ⅱ	2	2	
		副演習Ⅲ	2	3	
Ш		副演習Ⅳ	2	3	

分	- }	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
			環境教育論	2	2.3.4	
			世界都市論	2	2.3.4	
			参加•協働論	2	2.3.4	
		1	男女共同参画社会論	2	2.3.4	
		l	比較地方自治	2	2.3.4	
	'	'	地方政治論	2	2.3.4	
	7	ス	地域情報化とまちづくり	2	2.3.4	
専	B	月	ヨーロッパの地域政策	2	2.3.4	10 光 序语和 分体
	Þ	刔	社会保障論	2	2.3.4	12単位選択必修
門	ì	重	経営史	2	2.3.4	
教	_	- I	経済思想史	2	2.3.4	
	禾	斗	社会科学の方法 I	2	2.3.4	
養	E	3	社会科学の方法Ⅱ	2	2.3.4	
科	ľ	•	語学演習	1	2.3.4	
4-1			学系基幹科目、コース基幹科目、	コース	展開	
目			科目のうち必要単位数を超えて修	得した	科目	
		厚 哼	演習 I	2	2	
	幸	牧	演習Ⅱ	2	2	8単位必修
	ء	髪ぜ	演習Ⅲ	2	3	0年世纪10
		3	演習IV	2	3	
	卒	卒論	卒論演習 I	2	4	4単位必修
	論ゼ	演習	卒論演習Ⅱ	2	4	4 平 匹 北 ド
	111	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

国際文化コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対象となる共通教養科目	卒業要件
歴史学入門、社会学入門、心理学入門、文化研究入門、思想研究入門、文学研究入門、国際社会論入門、 倫理学、日本国憲法、課題探究科目(歴史から今を知る)、課題探究科目(健康スポーツ科学)	10単位選択必修
	上記に加えて6単位 ただし、既習者につ いては別途定める (2017年度以降入学 生)

2	- •	¶ 教養科 目 Т — ≰(日夕	14 (+ *L	B tree v.	七米田 (4)
分	類	科目名	単位数	履修年次 2	卒業要件
	系基	人間科学論	2	2	4. 田子語和 7. 体
	幹科	社会関係論	2	2	4単位選択必修
	B	国際文化論	2	2	
		エスニシティ文化論	2	2.3.4	
		比較文化論	2	2.3.4	
		言語学	2	2.3.4	
		日本語文学	2	2.3.4	8単位選択必修
		文化交流史	2	2.3.4	
		日本文化史	2	2.3.4	
		文芸批評論	2	2.3.4	
	コ	表象文化論	2	2.3.4	
		現代哲学	2	2.3.4	
	l	現代倫理学	2	2.3.4	
	ス	心理学	2	2.3.4	
	4	精神分析	2	2.3.4	
	基	身体科学	2	2.3.4	
	幹	文化人類学	2	2.3.4	
	+1	発達心理学	2	2.3.4	
	科	現代教育論	2	2.3.4	8単位選択必修
専		社会理論	2	2.3.4	0平区医八名。10
門	目	社会福祉論	2	2.3.4	
1		現代社会論	2	2.3.4	
教		多文化社会論	2	2.3.4	
辛		日本社会史	2	2.3.4	
養		欧米社会史	2	2.3.4	
科		アジア社会史	2	2.3.4	
		経済社会論	2	2.3.4	
目		コミュニケーション論	2	2.3.4	
		移住とアイデンティティ1	2	2.3.4	
		移住とアイデンティティ2	2	2.3.4	
		フィールド研究	2	2.3.4	
		中国古典文化	2	2.3.4	
	コ	東洋文化	2	2.3.4	
		中国文化論A	2	2.3.4	
		中国文化論B	2	2.3.4	
	ス	英語意味論	2	2.3.4	
		英語構文研究 1	2	2.3.4	
	展	英語構文研究 2	2	2.3.4	
	開	演劇文化論	2	2.3.4	
	1513	イギリス文学A	2	2.3.4	
	科	メディア英語	2	2.3.4	
		イギリス文化論	2	2.3.4	
	目	イギリス文学B	2	2.3.4	
		都市文化論A	2	2.3.4	
		都市文化論B	2	2.3.4	
		比較言語論A	2	2.3.4	
		比較言語論B	2	2.3.4	

分	・類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		Literary Criticism 1	2	2.3.4	
		Literary Criticism 2	2	2.3.4	
		Literary Criticism3	2	2.3.4	
		アメリカ文学1	2	2.3.4	
		アメリカ文学2	2	2.3.4	
		アメリカ文学3	2	2.3.4	
		フランス文化論A1	2	2.3.4	
		フランス文化論A2	2	2.3.4	
		フランス文化論B1	2	2.3.4	
		フランス文化論B2	2	2.3.4	
		日本古典文学論	2	2.3.4	
		近代日本文化論A	2	2.3.4	
		近代日本文化論B	2	2.3.4	
		アジア文化史	2	2.3.4	
		アジア史研究A1	2	2.3.4	
		アジア史研究A2	2	2.3.4	
		アジア史研究 B 1	2	2.3.4	
		アジア史研究B2	2	2.3.4	
		日本文化論A	2	2.3.4	
#	コ	日本文化論B	2	2.3.4	
専	1	日本の文化遺産	2	2.3.4	
門	'	Japanese Literature in English A	2	2.3.4	
l	ス	Japanese Literature in English B	2	2.3.4	
教	₩.	Explication of American Literary Text A	2	2.3.4	
養	展	Explication of American Literary Text B	2	2.3.4	
10	開	European Culture in English	2	2.3.4	28単位選択必
科		Literature in English A	2	2.3.4	修
目	科	Literature in English B	2	2.3.4	
Ħ	目	Elements of Fiction	2	2.3.4	
		Global Issues	2	2.3.4	
		音楽文化論	2	2.3.4	
		現代美術論	2	2.3.4	
		翻訳文化論A	2	2.3.4	
		翻訳文化論B	2	2.3.4	
		ドイツ文化論	2	2.3.4	
		ロシア・東欧の文化	2	2.3.4	
		アメリカ文化論	2	2.3.4	
		日本表象文化史	2	2.3.4	
		日本の古典文化	2	2.3.4	
		映像文化論	2	2.3.4	
		西洋文化論A	2	2.3.4	
		西洋文化論B	2	2.3.4	
		英米言語文化A	2	2.3.4	
		英米言語文化B	2	2.3.4	
		外書講読	2	2.3.4	
		特講	2	2.3.4	
		別表人間科学コースのコース	ス展開	科目	
		別表社会関係論コースのコー	ス展開	科目	

分)類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	7	副演習 I	2	2	「水文川
	ス	副演習Ⅱ	2	2	
	展開	副演習Ⅲ	2	3	
	科目	副演習IV	2	3	
		環境教育論	2	2.3.4	
		世界都市論	2	2.3.4	
		参加•協働論	2	2.3.4	
	コ	男女共同参画社会論	2	2.3.4	
		比較地方自治	2	2.3.4	
		地方政治論	2	2.3.4	
	ス	地域情報化とまちづくり	2	2.3.4	
	関	ヨーロッパの地域政策	2	2.3.4	12単位選択必
	渕	社会保障論	2	2.3.4	修
専	連	経営史	2	2.3.4	
	€ 1	経済思想史	2	2.3.4	
門	科	社会科学の方法 I	2	2.3.4	
1 3	目	社会科学の方法Ⅱ	2	2.3.4	
		語学演習	1	2.3.4	
教		学系基幹科目、コース基幹科目、 科目のうち必要単位数を超えて修			
養	専門	演習I	2	2	
	教	演習Ⅱ	2	2	8単位必修
±N.	養 ゼ	演習Ⅲ	2	3	0年位必修
科	31	演習Ⅳ	2	3	
	卒論	卒論演習 I	2	4	4単位必修
目	論選	卒論演習Ⅱ	2	4	4平1年2019
	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

まちづくりコース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対	象と	なる共	共通 教養	科目	卒業要件
歷史学入門、社会学入門、地理学 経済学入門Ⅱ、経営学入門Ⅰ、経				祭社会論入門、経済学入門Ⅰ、 「、社会統計学Ⅱ、社会システム入門	10単位選択必修

分		科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	幹学 科系 目基	国際社会と都市を考える	2	2.3.4	2単位必修
		都市計画論	2	2.3.4	14単位選択必修
		景観まちづくり論	2	2.3.4	
	コ	市民まちづくり論	2	2.3.4	
		都市解析	2	2.3.4	
		都市デザイン論	2	2.3.4	※実習は必
	ス	都市交通政策	2	2.3.4	ボミ単位以上
		都市防災計画論	2	2.3.4	選択すること
	基	環境計画論	2	2.3.4	
	幹	国土及び広域計画	2	2.3.4	
	71	横浜の都市づくりと課題	2	2.3.4	
	科	海外まちづくり実習	2	3.4	*
	目	地域まちづくり実習	2	3.4	*
	P	まちづくりインターンシップ実習	2	2.3.4	<u> </u>
		まちづくり実習Ⅰ	8	2.3.4	16単位必修
		まちづくり実習Ⅱ	8	3.4	
		都市と農	2	2.3.4	
		環境ビジネス・資源循環論	2	2.3.4	
専		環境教育論	2	2.3.4	
пп		環境経済学	2	2.3.4	
門		開発経済学中心表徴が出	2	2.3.4	
教		中心市街地活性化のまちづくり不動産マネジメント論	2	3.4	
			2	3.4	
養		地域ブランディング論 グローバリゼーションと産業集積	2	2.3.4	
科		観光振興論	2	2.3.4	
	_	ISO基礎(環境)	2	2.3.4	
目	コ	ISO実践(環境)	2	2.3.4	
		ISO基礎(品質)	2	2.3.4	
		ISO実践(品質)	2	2.3.4	
	ス	地域CSR論	2	2.3.4	
	展	産業政策論	2	2.3.4	
		経済立地論	2	2.3.4	
	開	コンテンツ産業論	2	2.3.4	
	科	公共投資と地域経済	2	2.3.4	
		地域再生の地理学	2	2.3.4	
	目	地域統計学	2	2.3.4	
		コミュニティビジネス論	2	2.3.4	
		事業創造論B	2	2.3.4	
		マーケティング論 I	2	2.3.4	
		マーケティング論Ⅱ	2	2.3.4	
		グローバル平和論	2	2.3.4	20単位選択必修
		平和構築論	2	2.3.4	
		多文化社会論	2	2.3.4	
		世界都市論	2	2.3.4	
		行政法 I	2	2.3.4	
		行政法Ⅱ	2	2.3.4	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		社会基盤と都市づくり	2	2.3.4	
		文化政策論	0	0.0.4	
		まちづくりのための調査法	2	2.3.4	
		プロジェクトマネジメント論	2	2.3.4	
		参加・協働論	2	2.3.4	
		社会福祉論	2	2.3.4	
		地域福祉論	2	2.3.4	
		男女共同参画社会論	2	2.3.4	
	コ	社会保障論	2	2.3.4	
	_1	比較地方自治	2	2.3.4	
		財政学I	2	2.3.4	
		財政学Ⅱ	2	2.3.4	
	ス	大都市経営論	2	2.3.4	
	展	農村振興論	2	2.3.4	
	шн	地方政治論	2	2.3.4	
	開	比較憲法	2	2.3.4	
	科	地域情報化とまちづくり	2	2.3.4	
		ヨーロッパの地域政策	2	2.3.4	
	目	アメリカの都市と地域政策	2	2.3.4	
車		特講	2	2.3.4	
号 門		コース基幹科目のうち、必要! えて修得した科目	单位数	を超	
11		別表地域政策コースのコース	基幹和	計目	
教		別表グローバル協力コースのコー			
養		副演習 I	2	2	
		副演習Ⅱ	2	2	
科		副演習Ⅲ	2	3	
目		副演習IV	2	3	
		国際金融論 I	2	2.3.4	
		国際金融論Ⅱ	2	2.3.4	
		資源経済学	2	2.3.4	
		文化人類学	2	2.3.4	
		地理情報システム論	2	2.3.4	
	コ	経営組織論I	2	2.3.4	
		経営組織論Ⅱ	2	2.3.4	
	1	経営情報論I	2	2.3.4	
	ス	経営情報論Ⅱ	2	2.3.4	
	月日	経済統計I	2	2.3.4	
	関	経済統計Ⅱ	2	2.3.4	
	連	移住とアイデンティティ1	2	2.3.4	
	₹VI	移住とアイデンティティ 2 国際人権法 A	2	2.3.4	
	科	国際人権法B	2	2.3.4	
	目	国際法A	2	2.3.4	
		国際法B	2	2.3.4	
		現代中国社会A	2	2.3.4	0用停滞扣以修
		現代中国社会B	2	2.3.4	8単位選択必修
		現代韓国朝鮮社会論A	2	2.3.4	
		現代韓国朝鮮社会論B	2	2.3.4	
Ш		701 4FF 171/mm LF 72 lm D		1	

分) 類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		東南アジア社会論	2	2.3.4	1 /15/5/11
		東南アジア史	2	2.3.4	
		南アジア社会論	2	2.3.4	
		中東社会論	2	2.3.4	
		アフリカ社会論	2	2.3.4	
		ラテン・アメリカ社会論	2	2.3.4	
		アメリカ社会A	2	2.3.4	
		アメリカ社会B	2	2.3.4	
		ヨーロッパ社会	2	2.3.4	
		ディスコース研究	2	2.3.4	
		社会言語論 1	2	2.3.4	
	コ	社会言語論 2	2	2.3.4	
		メディア英語	2	2.3.4	
	'	イギリス文化論	2	2.3.4	
	ス	アメリカ文化論	2	2.3.4	
専	日日	英米言語文化A	2	2.3.4	
	関	英米言語文化B	2	2.3.4	
門	連	Global Issues	2	2.3.4	
教		Literary Criticism 1	2	2.3.4	
	科	Literary Criticism 2	2	2.3.4	
養	目	Literary Criticism 3	2	2.3.4	
科		Japanese Literature in English A	2	2.3.4	
177		Japanese Literature in English B	2	2.3.4	
目		Explication of American Literary Text A	2	2.3.4	
		Explication of American Literary Text B	2	2.3.4	
		European Culture in English	2	2.3.4	
		Literature in English A	2	2.3.4	
		Literature in English B	2	2.3.4	
		Elements of Fiction	2	2.3.4	
		語学演習	1	2.3.4	
		コース基幹科目、コース展開	科目0	Ç	
		ち、必要単位数を超えて修得	した科	相	
	専門	演習 I	2	2	
	教	演習Ⅱ	2	2	8単位必修
	養ゼ	演習Ⅲ	2	3	
	3	演習Ⅳ	2	3	
	卒		2	4	4単位必修
	論ぜ		2	4	1十四元19
	本部	卒業論文	2	4	2単位必修

地域政策コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対 象	と な る 共 通 教 養 科 目	卒業要件
	、政治学入門、行政学入門、国際社会論入門、経済学入門Ⅰ、 :入門Ⅱ、法学入門、社会統計学Ⅰ、社会統計学Ⅱ、社会システム入門	10単位選択必修

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	幹学 科系 目基	国際社会と都市を考える	2	2.3.4	2単位必修
•		事業創造論A	2	2.3.4	
		比較社会システム論	2	2.3.4	
		地球環境政策論	2	2.3.4	
		地方自治論	2	2.3.4	
	コ	都市の経済と政策	2	2.3.4	10単位選択必修
	1	グローバル地理学	2	2.3.4	
	'	都市財政論	2	2.3.4	
	ス	地域社会論	2	2.3.4	
	++-	海外地域政策実習	2	2.3.4	
	基	実習A	4	2.3.4	
	幹	実習B1	2	2.3.4	
		実習B2	2	2.3.4	
	科	実習C1	2	2.3.4	
	目	実習C2	2	2.3.4	4単位選択必修
	Ħ	実習D1	2	2.3.4	
		実習D2	2	2.3.4	
		実習E1	2	2.3.4	
		実習E2	2	2.3.4	
専		都市と農	2	2.3.4	
ΗΗ		環境ビジネス・資源循環論	2	2.3.4	
門		環境教育論	2	2.3.4	
教		ミクロ経済学 I	2	2.3.4	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
養		資源経済学	2	2.3.4	
科		環境経済学	2	2.3.4	
45.1		開発経済学	2	2.3.4	
目			2	2.3.4	
	コ	文化人類学		2.3.4	
		地理情報システム論中に表演があれている。	2		
		中心市街地活性化のまちづくり	2	2.3.4	
	ス	不動産マネジメント論	2	2.3.4	
		地域ブランディング論	2	2.3.4	
	展	グローバリゼーションと産業集積	2	2.3.4	
		観光振興論	2	2.3.4	
	開	ISO基礎(環境)	2	2.3.4	
	科	ISO実践(環境)	2	2.3.4	
		ISO基礎(品質)	2	2.3.4	
	目	ISO実践(品質)	2	2.3.4	
		地域CSR論	2	2.3.4	
		産業政策論	2	2.3.4	
		経済立地論	2	2.3.4	
		コンテンツ産業論	2	2.3.4	
		公共投資と地域経済	2	2.3.4	
		地域再生の地理学	2	2.3.4	
		地域統計学	2	2.3.4	
		コミュニティビジネス論	2	2.3.4	
		事業創造論B	2	2.3.4	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		マーケティング論 I	2	2.3.4	
		マーケティング論Ⅱ	2	2.3.4	
		経営組織論 I	2	2.3.4	
		経営組織論Ⅱ	2	2.3.4	
		経営情報論 I	2	2.3.4	
		経営情報論Ⅱ	2	2.3.4	
		国際経営論 I	2	2.3.4	
		国際経営論Ⅱ	2	2.3.4	
		グローバル平和論	2	2.3.4	
		平和構築論	2	2.3.4	
		多文化社会論	2	2.3.4	
		移住とアイデンティティ1	2	2.3.4	
		移住とアイデンティティ2	2	2.3.4	
		国際人権法A	2	2.3.4	
		国際人権法B	2	2.3.4	
		国際法A	2	2.3.4	
		国際法B	2	2.3.4	
	コ	世界都市論	2	2.3.4	
専		行政学 社会基盤と都市づくり	2	2.3.4	
нн			2	2.3.4	
門	ス	文化政策論 まちづくりのための調査法	2	2.3.4	
教	^	プロジェクトマネジメント論	2	2.3.4	
	展	参加・協働論	2	2.3.4	36単位選択必修
養	開	社会福祉論	2	2.3.4	
科	用	地域福祉論	2	2.3.4	
	科	男女共同参画社会論	2	2.3.4	
目		社会保障論	2	2.3.4	
	目	比較地方自治	2	2.3.4	
		財政学I	2	2.3.4	
		財政学Ⅱ	2	2.3.4	
		大都市経営論	2	2.3.4	
		農村振興論	2	2.3.4	
		地方政治論	2	2.3.4	
		比較憲法	2	2.3.4	
		地域情報化とまちづくり	2	2.3.4	
		現代中国社会A	2	2.3.4	
		現代中国社会B	2	2.3.4	
		現代韓国朝鮮社会論A	2	2.3.4	
		現代韓国朝鮮社会論B	2	2.3.4	
		東南アジア社会論	2	2.3.4	
		南アジア社会論	2	2.3.4	
		中東社会論	2	2.3.4	
		アフリカ社会論	2	2.3.4	
		ラテン・アメリカ社会論	2	2.3.4	
		ヨーロッパの地域政策	2	2.3.4	
Ш		アメリカの都市と地域政策	2	2.3.4	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	×	アメリカ社会A	2	2.3.4	
		アメリカ社会B	2	2.3.4	
		ヨーロッパ社会	2	2.3.4	
		都市発達史	2	2.3.4	
		福祉NPO論	2	2.3.4	
	コ	高齢社会論A	2	2.3.4	
		高齢社会論B	2	2.3.4	
		メディア英語	2	2.3.4	
	ス	イギリス文化論	2	2.3.4	
	^	アメリカ文化論	2	2.3.4	
	展	Global Issues	2	2.3.4	
	нн	European Culture in English	2	2.3.4	
	開	特講	2	2.3.4	
	科	コース基幹科目のうち、必要	単位数	女を	
		超えて修得した科目			
	目	別表まちづくりコースのコース	基幹	科目	
		別表グローバル協力コースのコー	ス基幹	科目	
		副演習 I	2	2	
		副演習Ⅱ	2	2	
		副演習Ⅲ	2	3	
専		副演習IV	2	3	
門		経済統計 I	2	2.3.4	
L.1		経済統計Ⅱ	2	2.3.4	
教		サービス・ビジネス論 I	2	2.3.4	
عد.		サービス・ビジネス論Ⅱ	2	2.3.4	
養		経営財務 I	2	3.4	
科		経営財務Ⅱ	2	3.4	
		マクロ経済学I	2	2.3.4	
目		マクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
	_	公共経済学	2	2.3.4	
	コ	行政法 I	2	2.3.4	
		行政法Ⅱ	2	2.3.4	
	_	地方自治法	2	2.3.4	
	ス	現代社会論	2	2.3.4	
	関	ジェンダー論	2	2.3.4	8単位選択必修
		家族社会学A	2	2.3.4	
	連	家族社会学B	2	2.3.4	
	科	都市文化論A	2	2.3.4	
	41	都市文化論B	2	2.3.4	
	目	ディスコース研究	2	2.3.4	
		社会言語論 1	2	2.3.4	
		社会言語論 2	2	2.3.4	
		英米言語文化A	2	2.3.4	
		英米言語文化B	2	2.3.4	
		Literary Criticism 1	2	2.3.4	
		Literary Criticism 2	2	2.3.4	
		Literary Criticism3	2	2.3.4	
		Japanese Literature in English A	2	2.3.4	
		Japanese Literature in English B	2	2.3.4	

分)類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		Explication of American Literary Text A	2	2.3.4	
	コ	Explication of American Literary Text B	2	2.3.4	
		Literature in English A	2	2.3.4	
専	ス 関	Literature in English B	2	2.3.4	
	連	Elements of Fiction	2	2.3.4	
門	科	語学演習	1	2.3.4	
教	目	コース基幹科目、コース展開	科目の	うう	
		ち、必要単位数を超えて修得	した和	4目	
養	専	演習 I	2	2	
科	門教養ゼミ	演習Ⅱ	2	2	0 景 停 立 核
451	養	演習Ⅲ	2	3	8単位必修
目	10 11	演習IV	2	3	
	卒論	卒論演習 I	2	4	4単位必修
	論演習	卒論演習Ⅱ	2	4	4 平 1 丛 火 1 1 1
	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

グローバル協力コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対	象となる共	通 教 養 科 目	卒業要件
		政学入門、国際社会論入門、経済学入門Ⅰ、 、社会統計学Ⅰ、社会統計学Ⅱ、社会システム入門	10単位選択必修

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	幹学 科系 目基	国際社会と都市を考える	2	2.3.4	2単位必修
		グローバル協力論	2	2.3.4	
		グローバル政治論	2	2.3.4	
		グローバル経済論	2	2.3.4	
	コ	グローバル公共政策論	2	2.3.4	
		国際機構論	2	2.3.4	
		地域開発論	2	2.3.4	14単位選択必修
	ス	社会開発論	2	2.3.4	
	基	アジア地域論	2	2.3.4	
	45	アジア近現代史	2	2.3.4	
	幹	東アジア社会論	2	2.3.4	
	±)l	Learning Global Cooperation in English	2	2.3.4	
	科	海外調査実習A(アジア)	4	2.3.4	
	目	海外調査実習B(国連)	4	2.3.4	
		海外調査実習C(国際協力)	4	2.3.4	4単位選択必修
		地域調査実習A	4	2.3.4	
		地域調査実習B	4	2.3.4	
		都市と農	2	2.3.4	
専		環境ビジネス・資源循環論	2	2.3.4	
門		環境教育論	2	2.3.4	
L.J		国際金融論 I	2	2.3.4	
教		国際金融論Ⅱ	2	2.3.4	
عد.		資源経済学	2	2.3.4	
養		環境経済学	2	2.3.4	
科		開発経済学	2	2.3.4	
		文化人類学	2	2.3.4	
目	コ	地理情報システム論	2	2.3.4	
		中心市街地活性化のまちづくり	2	2.3.4	
	l	不動産マネジメント論	2	2.3.4	
	ス	地域ブランディング論	2	2.3.4	
	_	グローバリゼーションと産業集積	2	2.3.4	
	展	観光振興論	2	2.3.4	
	開	ISO基礎(環境)	2	2.3.4	
	1213	ISO実践(環境)	2	2.3.4	
	科	ISO基礎(品質)	2	2.3.4	
	目	ISO実践(品質)	2	2.3.4	
	Ħ	地域CSR論	2	2.3.4	
		産業政策論	2	2.3.4	
		経済立地論	2	2.3.4	
		コンテンツ産業論	2	2.3.4	
		公共投資と地域経済	2	2.3.4	
		地域再生の地理学	2	2.3.4	
		地域統計学	2	2.3.4	
		コミュニティビジネス論	2	2.3.4	
		事業創造論B	2	2.3.4	
		グローバル平和論	2	2.3.4	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		平和構築論	2	2.3.4	
		多文化社会論	2	2.3.4	
		移住とアイデンティティ1	2	2.3.4	
		移住とアイデンティティ2	2	2.3.4	
		国際人権法A	2	2.3.4	
		国際人権法B	2	2.3.4	
		国際法A	2	2.3.4	
		国際法B	2	2.3.4	
		世界都市論	2	2.3.4	
		比較地方自治	2	2.3.4	
		比較憲法	2	2.3.4	
		地域情報化とまちづくり	2	2.3.4	
		現代中国社会A	2	2.3.4	
		現代中国社会B	2	2.3.4	
		現代韓国朝鮮社会論A	2	2.3.4	
		現代韓国朝鮮社会論B	2	2.3.4	
		東南アジア社会論	2	2.3.4	
	コ	東南アジア史	2	2.3.4	
専	1	南アジア社会論	2	2.3.4	
門	I	中東社会論	2	2.3.4	
1 1	ス	アフリカ社会論	2	2.3.4	
教	_	ラテン・アメリカ社会論	2	2.3.4	
養	展	ヨーロッパの地域政策	2		32単位選択必修
食	開	アメリカの都市と地域政策	2	2.3.4	
科		アメリカ社会A	2	2.3.4	
	科	アメリカ社会B	2	2.3.4	
目	目	ヨーロッパ社会	2	2.3.4	
	н	ディスコース研究	2	2.3.4	
		社会言語論 1 社会言語論 2	2	2.3.4	
		メディア英語	2	2.3.4	
		イギリス文化論	2	2.3.4	
		アメリカ文化論	2	2.3.4	
		英米言語文化A	2	2.3.4	
		英米言語文化B	2	2.3.4	
		Global Issues	2	2.3.4	
		Literary Criticism 1	2	2.3.4	
		Literary Criticism 2	2	2.3.4	
		Literary Criticism 3	2	2.3.4	
		Japanese Literature in English A	2	2.3.4	
		Japanese Literature in English B	2	2.3.4	
		Explication of American Literary Text A	2	2.3.4	
		Explication of American Literary Text B	2	2.3.4	
		European Culture in English	2	2.3.4	
		Literature in English A	2	2.3.4	
		Literature in English B	2	2.3.4	
Ш		Prograture III Eligitali D	4	204	

分	>	頁	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
- /-	7	-	Elements of Fiction	2	2.3.4	一个女门
			特講	2	2.3.4	
	I		コース基幹科目のうち、必要は		が招	
	ス		えて修得した科目	H 111.99	(C / C	
			別表まちづくりコースのコース	基幹	科目	
	展	i.	別表地域政策コースのコース			
	開	1	副演習 I	2	2	
	121.	,	副演習Ⅱ	2	2	
	科	ŀ	副演習Ⅲ	2	3	
	目		副演習IV	2	3	
	Н		マーケティング論 I	2	2.3.4	
			マーケティング論Ⅱ	2	2.3.4	
			経営組織論I	2	2.3.4	
			経営組織論 II	2	2.3.4	
			経営情報論 I	2	2.3.4	
			経営情報論Ⅱ	2	2.3.4	
			国際経営論 I	2	2.3.4	
			国際経営論Ⅱ	2	2.3.4	
			ミクロ経済学I	2	2.3.4	
			ミクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
			マクロ経済学Ⅰ	2	2.3.4	
専	_		マクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
門	コ	ļ.	経済統計I	2	2.3.4	
11			経済統計Ⅱ	2	2.3.4	
教			行政法 I	2	2.3.4	
عد	ス		<u></u>	2	2.3.4	
養	関	1	社会基盤と都市づくり	2	2.3.4	8単位選択必修
科	15.	J	文化政策論	2	2.3.4	0 中区区八石市
	連	Î	まちづくりのための調査法	2	2.3.4	
目	科	ı	プロジェクトマネジメント論	2	2.3.4	
	111	r	参加•協働論	2	2.3.4	
	目		社会福祉論	2	2.3.4	
			地域福祉論	2	2.3.4	
			男女共同参画社会論	2	2.3.4	
			社会保障論	2	2.3.4	
			財政学I	2	2.3.4	
			財政学Ⅱ	2	2.3.4	
			大都市経営論	2	2.3.4	
			農村振興論	2	2.3.4	
			地方政治論	2	2.3.4	
			語学演習	1	2.3.4	
			コース基幹科目、コース展開		l	
			ち、必要単位数を超えて修得			
	専			2	2	
	門教		演習Ⅱ	2	2	074 F 7.15
	養		演習Ⅲ	2	3	8単位必修
	ゼミ		演習IV	2	3	
	卒	卒論	卒論演習 I	2	4	M. H. S. H.
	論	珊演習	卒論演習Ⅱ	2	4	4単位必修
	ゼミ	卒	卒業論文	2	4	2単位必修
ш	`	丽	, ,14004.5 4			- 1

経営学コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対象となる共通教養科目	卒業要件
経営学入門 I 、経営学入門 II 、簿記入門 II 、簿記入門 II	8単位必修
経済学入門Ⅰ、経済学入門Ⅱ、法学入門、民法入門、社会統計学Ⅰ、社会統計学Ⅱ、社会システム入門	2単位選択必修

2		門教養科目			
分)類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		企業論 I	2	2.3.4	
		企業論Ⅱ	2	2.3.4	
		経営管理論I	2	2.3.4	
	学	経営管理論Ⅱ	2	2.3.4	
	77	商業簿記 I	2	2.3.4	
	系	商業簿記Ⅱ	2	2.3.4	
	基	工業簿記	2	2.3.4	
		会計学原論 I	2	2.3.4	16単位選択必修
	幹	会計学原論Ⅱ	2	2.3.4	
	科	ミクロ経済学I	2	2.3.4	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
	目	マクロ経済学I	2	2.3.4	
		マクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
		経済統計 I	2	2.3.4	
		経済統計Ⅱ	2	2.3.4	
		経営戦略論I	2	2.3.4	
		経営戦略論Ⅱ	2	2.3.4	
	_	経営組織論I	2	2.3.4	
	コ	経営組織論Ⅱ	2	2.3.4	
		国際経営論 I	2	2.3.4	
		国際経営論Ⅱ	2	2.3.4	
	ス	人的資源管理 I	2	2.3.4	
専	基	人的資源管理Ⅱ	2	2.3.4	16単位選択必修
門		経営財務I	2	3.4	
1 1	幹	経営財務Ⅱ	2	3.4	
教	科	マーケティング論 I	2	2.3.4	
養	451	マーケティング論Ⅱ	2	2.3.4	
食	目	サービス・ビジネス論Ⅰ	2	2.3.4	
科		サービス・ビジネス論Ⅱ	2	2.3.4	
		経営情報論I	2	2.3.4	
目		経営情報論Ⅱ	2	2.3.4	
		流通ロジスティックス論	2	2.3.4	
		生産管理論	2	3.4	
		イノベーション・マネジメント	2	3·4 2·3·4	
		経営史 中小企業論	2	2.3.4	
		証券市場論	2	3.4	
	コ	消費者行動論	2	3.4	
		組織文化論	2	3.4	
	I	組織行動論	2	3.4	
	ス	医療経営論	2	3.4	
		医療イノベーション経営管理論	2	2.3.4	
	展	起業家人材論	2	2.3.4	16単位選択必修
	開	起業プランニング論	2	2.3.4	
	1213	Global Business Strategy	2	2.3.4	
	科	Global Innovation Management	2	2.3.4	
	目	Global Organization Theory	2	2.3.4	
	П	Global Business Administration	2	2.3.4	
		副演習 I	2	2	
		副演習Ⅱ	2	2	
		副演習Ⅲ	2	3	
		副演習IV	2	3	
		16単位を超えて修得したコース	ス基幹	科目	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		民法 · 債権 I	2	2.3.4	
		民法・債権Ⅱ	2	2.3.4	
		民法・物権 I	2	2.3.4	
		民法・物権Ⅱ	2	2.3.4	
	コ	倒産法	2	2.3.4	
		環境法	2	2.3.4	
	'	契約法	2	2.3.4	
	ス	経済法	2	2.3.4	
專	関	地域金融論	2	2.3.4	12単位選択必修
38	关	中小企業金融論	2	2.3.4	12年世迭代必修
明	連	行政法 I	2	2.3.4	
数	~1	行政法Ⅱ	2	2.3.4	
	科	地方自治法	2	2.3.4	
Ě	目	特講	2	2.3.4	
科	•	語学演習	1	2.3.4	
'		16単位を超えて修得した学系	基幹	科目	
目		16単位を超えて修得したコース	ス展開	科目	
		学系内他コースのコース基幹科目	・展開	科目	
	専門	演習 I	2	2	
	教	演習Ⅱ	2	2	8単位必修
	養ゼ	演習Ⅲ	2	3	0年世纪19
	3	演習IV	2	3	
	卒論	卒論演習 I	2	4	4単位必修
	論演習	卒論演習Ⅱ	2	4	4年世紀10
	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

会計学コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対象となる共通教養科目	卒業要件
経営学入門 I 、経営学入門 II 、簿記入門 II 、簿記入門 II	8単位必修
経済学入門Ⅰ、経済学入門Ⅱ、法学入門、民法入門、社会統計学Ⅰ、社会統計学Ⅱ、社会システム入門	2単位選択必修

2		門教養科目			
分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		企業論 I	2	2.3.4	
		企業論Ⅱ	2	2.3.4	
		経営管理論 I	2	2.3.4	
	学	経営管理論Ⅱ	2	2.3.4	
	系	商業簿記 I	2	2.3.4	
	713	商業簿記Ⅱ	2	2.3.4	
	基	工業簿記	2	2.3.4	
	44.6	会計学原論 I	2	2.3.4	16単位選択必修
	幹	会計学原論Ⅱ	2	2.3.4	
	科	ミクロ経済学I	2	2.3.4	
		ミクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
	目	マクロ経済学I	2	2.3.4	
		マクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
		経済統計 I	2	2.3.4	
		経済統計Ⅱ	2	2.3.4	
		原価計算論 I	2	2.3.4	
		原価計算論Ⅱ	2	2.3.4	
		国際会計論 I	2	2.3.4	
		国際会計論Ⅱ	2	2.3.4	
	コ	財務諸表論 I	2	3.4	
		財務諸表論Ⅱ	2	3.4	
		税務会計論 I	2	3.4	
	ス	税務会計論Ⅱ	2	3.4	
専	,	財務諸表分析 I	2	2.3.4	
HH	基	財務諸表分析Ⅱ	2	2.3.4	16単位選択必修
門	±-/\	監査論 I	2	3.4	
教	幹	監査論Ⅱ	2	3.4	
	科	会社法 I	2	2.3.4	
養		会社法Ⅱ	2	2.3.4	
科	目	管理会計論 I	2	3.4	
		管理会計論Ⅱ	2	3.4	
目		Introductory Accounting I	2	2.3.4	
		Introductory Accounting II	2	2.3.4	
		Intermediate Accounting	2	2.3.4	
		証券市場論	2	3.4	
		経営財務I	2	3.4	
		経営財務Ⅱ	2	3.4	
		手形小切手法	2	3.4	
		企業価値評価論	2	3.4	
	コ	金融商品取引法	2	3.4	
	ı	租税法	2	2.3.4	
		所得税法 I	2	3.4	
	ス	所得税法Ⅱ	2	3.4	
		国際税務戦略	2	3.4	
	展	Introduction to IFRSs	2	2.3.4	16単位選択必修
	開	Fundamentals of Investments	2	2.3.4	
	用	Basics of Corporate Analysis and Valuation	2	2.3.4	
	科	医療イノベーション経営管理論	2	2.3.4	
		起業家人材論	2	2.3.4	
	目	起業プランニング論	2	2.3.4	
		副演習 I	2	2	
		副演習Ⅱ	2	2	
		副演習Ⅲ	2	3	
		副演習IV	2	3	
		16単位を超えて修得したコース	ス基幹	科目	
					•

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		民法·債権 I	2	2.3.4	
		民法・債権Ⅱ	2	2.3.4	
		民法・物権 I	2	2.3.4	
		民法・物権Ⅱ	2	2.3.4	
		倒産法	2	2.3.4	
		環境法	2	2.3.4	
	コ	契約法	2	2.3.4	
		経済法	2	2.3.4	
		地域金融論	2	2.3.4	
	ス	中小企業金融論	2	2.3.4	
車		行政法 I	2	2.3.4	1000 (45)22 10 00
守	関	行政法Ⅱ	2	2.3.4	12単位選択必 修
門	\- 	地方自治法	2	2.3.4	115
,.,	連	Global Business Strategy	2	2.3.4	
教	科	Global Innovation Management	2	2.3.4	
養		Global Organization Theory	2	2.3.4	
Æ	目	Global Business Administration	2	2.3.4	
科		Japanese Economy	2	2.3.4	
目		特講	2	2.3.4	
Ħ		語学演習	1	2.3.4	
		16単位を超えて修得した学系	系基幹	科目	
		16単位を超えて修得したコー	ス展開	科目	
		学系内他コースのコース基幹科目	・展開	科目	
Ī	専	演習 I	2	2	
	門教	演習Ⅱ	2	2	0.光 体 2. 体
	養	演習Ⅲ	2	3	8単位必修
	ゼミ	演習IV	2	3	
ļ	卒	太シ冷羽 [2	4	4 H L N 14
	論ゼ	☆ 验炒羽π	2	4	4単位必修
	3 4		2	4	2単位必修

経済学コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

対象となる共通教養科目	卒業要件
経済学入門 I 、経済学入門 II	4単位必修
経営学入門 I 、経営学入門 II 、、簿記入門 I 、簿記入門 II 、法学入門、民法入門、 社会統計学 I 、社会統計学 II 、社会システム入門	6単位選択必修

公		科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	//	企業論I	2	2.3.4	十未女日
		企業論Ⅱ	2	2.3.4	
		経営管理論 I	2	2.3.4	
	学	経営管理論Ⅱ	2	2.3.4	
	7	商業簿記I	2	2.3.4	
	系	商業簿記Ⅱ	2	2.3.4	
	#	工業簿記	2	2.3.4	
	基	会計学原論 I	2	2.3.4	16単位選択必修
	幹	会計学原論Ⅱ	2	2.3.4	10 [2.2] (2.1)
	₩.	ミクロ経済学I	2	2.3.4	
	科	ミクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
	目	マクロ経済学I	2	2.3.4	
		マクロ経済学Ⅱ	2	2.3.4	
		経済統計 I	2	2.3.4	
		経済統計Ⅱ	2	2.3.4	
		情報の経済学 I	2	2.3.4	
		情報の経済学Ⅱ	2	2.3.4	
		経済政策 I	2	2.3.4	
	コ	経済政策Ⅱ	2	2.3.4	
		社会科学の方法 I	2	2.3.4	
専		社会科学の方法Ⅱ	2	2.3.4	
	ス	国際経済学I	2	2.3.4	
門	•	国際経済学Ⅱ	2	2.3.4	
教	基	民法・物権Ⅰ	2	2.3.4	16単位選択必修
34.	幹	民法・物権Ⅱ	2	2.3.4	
養	Ұ十	ビジネスエコノミクスI	2	2.3.4	
科	科	ビジネスエコノミクスⅡ	2	2.3.4	
	_	金融論 I	2	2.3.4	
目	目	金融論Ⅱ	2	2.3.4	
		財政学I	2	2.3.4	
		財政学Ⅱ	2	2.3.4	
		Japanese Economy	2	2.3.4	
		テクノロジーマネジメント	2	2.3.4	
		計量経済学I	2	2.3.4	
		計量経済学Ⅱ 	2	2.3.4	
	コ	意思決定論 I	2	2.3.4	
	1	意思決定論Ⅱ	2	2.3.4	
	1	民法・債権Ⅰ	2	2.3.4	
	ス	民法・債権Ⅱ	2	2.3.4	
	屈	公共選択論 I	2	2.3.4	16 甾位湿坦立修
	展	公共選択論Ⅱ 産業とゲーム理論Ⅰ	2	2.3.4	16単位選択必修
	開	産業とグーム理論 II	2	2.3.4	
	±N.	国際金融論 I	2	2.3.4	
	科	国際金融論Ⅱ	2	2.3.4	
	目	地方財政学	2	2.3.4	
		ファイナンス理論	2	2.3.4	
		公共経済学	2	2.3.4	
		経済思想史	2	2.3.4	
ш		压切心心人	4	204	

-	vie.					
分	为	貝	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	コー		経済成長論	2	2.3.4	
			副演習I	2	2	
	ス 展		副演習Ⅱ	2	2	
	開		副演習Ⅲ	2	3	
	科		副演習IV	2	3	
	目		16単位を超えて修得したコー	ス基幹	科目	
			地理情報システム論	2	2.3.4	12単位選択必修
			契約の経済学	2	2.3.4	
			社会保障論	2	2.3.4	
			都市・港湾経済学	2	2.3.4	
			金融システム論	2	2.3.4	
			倒産法	2	2.3.4	
			環境法	2	2.3.4	
			契約法	2	2.3.4	
			経済法	2	2.3.4	
			景気循環論	2	2.3.4	
			地域金融論	2	2.3.4	
			中小企業金融論	2	2.3.4	
	コ		行政法 I	2	2.3.4	
			行政法Ⅱ	2	2.3.4	
	'		開発経済学	2	2.3.4	
	ス		地方自治法	2	2.3.4	
	ĦĦ		資源経済学	2	2.3.4	
専	関	J	行政学	2	2.3.4	
	連	Ī	環境経済学	2	2.3.4	
門			集合と位相A	2	2.3.4	
L.1	科		集合と位相B	2	2.3.4	
	目		集合と位相演習 I	1	2.3.4	
教	Н		集合と位相演習Ⅱ	1	2.3.4	
			微分積分学	2	2.3.4	
養			微分積分学演習	1	2.3.4	
10			線形代数学	2	2.3.4	
<i>~</i> 1			線形代数学演習	1	2.3.4	
科			計画数学	2	2.3.4	
			データ解析	2	2.3.4	
目			特講	2	2.3.4	
			語学演習 語学演習	1	2.3.4	
			16単位を超えて修得した学			
			16単位を超えて修得したコーン			
			学系内他コースのコース基幹科			
	専		演習 I	2	2	8単位必修
	門教		演習Ⅱ	2	2	- 1
	養		演習Ⅲ	2	3	
	ゼミ		演習Ⅳ	2	3	
	卒	卒	卒論演習 I	2	4	4単位必修
	論	論演	卒論演習Ⅱ	2	4	171219
	٠.	習卒	卒業論文	2	4	2単位必修
ш	`	論	1 /\m/	-	Т.	

物質科学コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

区分	対象となる共通教養科目	卒業要件			
必修科目	自然科学基礎実験A、自然科学基礎実験B、自然科学基礎実験C	3単位必修			
北部行口	リメディアル講座(基礎物理学)、リメディアル講座(基礎生物学)				
物理学分野		物理学分野、化学分野 及び生物学分野のうち2			
化学分野	化学分野化学結合と構造、反応の化学、環境の基礎化学				
生物学分野	生体分子と細胞、遺伝と進化、生命の機能	が選択必修。 残りの1分野から4単位			
数学分野		が選択必修。(うち2単 位は数学分野でも可)			

2		門教養科目			
分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		電磁気学	2	2	
		振動と波動	2	2	
		熱力学	2	2	
		分析化学	2	2	
		有機物の化学	2	2	
		化学熱力学	2	2	
		周期表の化学	2	2	
		分子生物学	2	2	
	学	細胞生物学	2	2	
	T	生化学 I	2	2	
	系	地学概説 I	2	2	
	基	地学概説Ⅱ	2	2	
	1.4	地球科学実験	2	2	20単位選択必修
	幹	自然科学数学A	2	2.3.4	
	科	自然科学数学B	2	2.3.4	
		自然科学数学C	2	2.3.4	
	目	自然科学数学D	2	2.3.4	
車		基礎量子力学	2	2	
4		基礎統計力学	2	2	
門		回折結晶学	2	2	
±4.6		有機物質化学	2	2	
教		無機物質化学	2	2	
養		計算分子化学	2	2	
		遺伝学	2	2	
科		微生物学	2	2	
目		物質創製実験	2	2	
		シミュレーション実験	2	2	
		先端物性測定講義 I	2	2.3	
		先端物性測定講義Ⅱ	2	2.3	
	コ	先端物性測定実習 I	2	2.3	
	1	先端物性測定実習Ⅱ	2	2.3	
	ı	化学演習	1	3	30単位選択必修
	ス	物理学演習	1	3	(物質創製実
		物質機能科学 I	2	3	験、シミュレー
	基	物質機能科学Ⅱ	2	3	ション実験、先
	幹	量子力学	2	3	端物性測定実習 I 及び先端物性
	71	統計力学	2	3	測定実習Ⅱは必
	科	界面表面科学	2	3	修)
	目	分子構造化学	2	3	
	Ħ	分子機能化学	2	3	
		溶液化学	2	3	
		地震学	2	3	
		電子物性	2	3	
		量子化学	2	3	

分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
Ī	基幹科目	天然物化学	2	3	
		エネルギー変換	2	3	
		触媒化学	2	3	
		先端科学技術 I	2	3	
	コ	先端科学技術Ⅱ	2	3	
		科学論文表現法	2	3	
	スロ	物質科学キャリアデザイン	2	3	
	展開	組合せ論	2	2.3.4	
	科	計算機科学概論	2	2.3.4	
	目	別表生命環境コースのコース	基幹和	科目	
		別表生命医科学コースのコー	ス基斡	科目	
		計算とアルゴリズム	2	2.3.4	
		情報理論	2	2.3.4	
		集合と位相A	2	2.3.4	
l		集合と位相B	2	2.3.4	
+ -:		集合と位相演習 I	1	2.3.4	
専		集合と位相演習 Ⅱ	1	2.3.4	
明	コ	代数構造論	2	2.3.4	10単位選択必修
		微分積分学	2	2.3.4	
教	1	微分積分学演習	1	2.3.4	
養	ス	線形代数学	2	2.3.4	
	日日	線形代数学演習	1	2.3.4	
科	関	代数学	2	2.3.4	
目	連	計画数学	2	2.3.4	
	<i>~</i> 1	解析学	2	2.3.4	
	科	情報数学 I	2	2.3.4	
	目	情報数学Ⅱ	2	2.3.4	
		情報数学Ⅲ	2	2.3.4	
		計算機科学 I	2	2.3.4	
		計算機科学Ⅱ	2	2.3.4	
		データ解析	2	2.3.4	
		特講	2	2.3.4	
		語学演習	1	2.3.4	
Ī	専	物質科学ゼミI	2	2	
	門 教	物質科学ゼミⅡ	2	2	0 出 片 立 核
	養	物質科学演習 I	2	3	8単位必修
	ゼミ	物質科学演習Ⅱ	2	3	
	卒論	卒業研究 I	2	4	4.用位立体
	論選型	卒業研究Ⅱ	2	4	4単位必修
	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

生命環境コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

区分	対象となる共通教養科目	卒業要件			
2	自然科学基礎実験A、自然科学基礎実験B、自然科学基礎実験C	3単位必修			
必修符目	必修科目 リメディアル講座(基礎物理学)、リメディアル講座(基礎生物学)				
物理学分野		物理学分野、化学分野 及び生物学分野のうち2			
化学分野	学分野化学結合と構造、反応の化学、環境の基礎化学				
生物学分野	生体分子と細胞、遺伝と進化、生命の機能	が選択必修。 残りの1分野から4単位			
数学分野	分野 微分と積分、微分と積分演習、行列とベクトル、行列とベクトル演習、統計と確率 が選択 位は数				

2	専	門教養科目			
分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		電磁気学	2	2	
		振動と波動	2	2	
		熱力学	2	2	
		分析化学	2	2	
		有機物の化学	2	2	
		化学熱力学	2	2	
		周期表の化学	2	2	
		分子生物学	2	2	
	学	細胞生物学	2	2	
	系	生化学 I	2	2	
		地学概説 I	2	2	
	基	地学概説Ⅱ	2	2	00 H H 251 H 3/ 1/2
	幹	地球科学実験	2	2	20単位選択必修
	ŦT	自然科学数学A	2	2.3.4	
	科	自然科学数学B	2	2.3.4	
	目	自然科学数学C	2	2.3.4	
	Ħ	自然科学数学D	2	2.3.4	
		基礎量子力学	2	2	
専		基礎統計力学	2	2	
пп		回折結晶学	2	2	
門		有機物質化学	2	2	
教		無機物質化学	2	2	
		計算分子化学	2	2	
養		遺伝学	2	2	
科		微生物学	2	2	
		生化学Ⅱ	2	2	
目		動物生理学I	2	2	
		動物生理学Ⅱ	2	3	
		動物解剖組織学	2	2	
		動物細胞工学	2	3	
	コ	植物生理学Ⅰ	2	2	
		植物生理学Ⅱ	2	2	30単位選択必修
	ı	植物細胞工学	2	3	50平位送水纪修
	ス	資源生物利用学 ゲノム遺伝学	2	3	(基礎生命科学
	基		2	3	実習、生命機能 実習 I 、生命機
	圶	分子細胞生物学	2	3	能実習Ⅱ、生命
	幹	再生発生学 環境毒性学	2	3	機能実習Ⅲ及び
	⊅ N	比較動物生理学	2	3	生命機能実習Ⅳ
	科	極限環境生物学	2	3	は必修)
	目	先端植物科学	2	3	
		基礎生命科学実習	2	2	
		生命機能実習I	3	2.3	
		生命機能実習Ⅱ	1	2.3	
		生命機能実習Ⅲ	2	2.3	
		生命機能実習IV	2	3	
ш				,	

	· Ferent				
分	7 類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		データ解析	2	2.3.4	
	コ	バイオインフォマティクス	2	3	
		環境保全学	2	3	
	ス 展	環境衛生学	2	3	
車	開	放射線生物学	2	2	
ľ	科	生命環境科学	2	3	10単位選択必修
門	目	別表物質科学コースのコース	基幹和	計目	
教		別表生命医科学コースのコー	ス基斡	科目	
	関コー	特講	2	2.3.4	
養	科ス	語学演習	1	2.3.4	
科	専門	生命環境ゼミI	2	2	
	教	生命環境ゼミⅡ	2	2	8単位必修
目	養ゼ	生命環境演習 I	2	3	0年世纪修
	ヤミ	生命環境演習Ⅱ	2	3	
	卒論	卒業研究 I	2	4	4単位必修
	論演習	卒業研究Ⅱ	2	4	4年世纪19
	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

生命医科学コース

1 卒業に必要な共通教養科目50単位のうち、コースにおいて卒業要件となる科目

区 分	対象となる共通教養科目	卒業要件			
必修科目	自然科学基礎実験A、自然科学基礎実験B、自然科学基礎実験C				
必修行日	ルプタイプル講座 (基礎物理学)、リメディアル講座 (基礎生物学)				
物理学分野		物理学分野、化学分野 及び生物学分野のうち2			
化学分野	全分野 化学結合と構造、反応の化学、環境の基礎化学				
生物学分野	生体分子と細胞、遺伝と進化、生命の機能	が選択必修。 残りの1分野から4単位			
数学分野	☆野 微分と積分、微分と積分演習、行列とベクトル、行列とベクトル演習、統計と確率 が選択必修。 (*位は数学分野で**				

2		月教養科目			
分	類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
		電磁気学	2	2	
		振動と波動	2	2	
		熱力学	2	2	
		分析化学	2	2	
		有機物の化学	2	2	
		化学熱力学	2	2	
		周期表の化学	2	2	
		分子生物学	2	2	
	学	細胞生物学	2	2	
	系	生化学 I	2	2	
	\/\	地学概説 I	2	2	
	基	地学概説Ⅱ	2	2	
	+-^	地球科学実験	2	2	20単位選択必修
	幹	自然科学数学A	2	2.3.4	
	科	自然科学数学B	2	2.3.4	
		自然科学数学C	2	2.3.4	
専	目	自然科学数学D	2	2.3.4	
-1		基礎量子力学	2	2	
門		基礎統計力学	2	2	
+//-		回折結晶学	2	2	
教		有機物質化学	2	2	
養		無機物質化学	2	2	
		計算分子化学	2	2	
科		遺伝学	2	2	
目		微生物学	2	2	
		生体高分子構造科学	2	2	
		生体高分子機能科学	2	2	
		人体の解剖生理学	2	2	
	コ	分子細胞医科学	2	2	
		遺伝子機能科学	2	3	
		生命情報科学	2	3	
	ス	プロテオーム科学	2	3	30単位選択必修
		発生•再生医学	2	3	(生命医科学実
	基	脳神経科学	2	3	習I、生命医科
	+-^	生体分子計測科学	2	3	学実習Ⅱ及び生
	幹	生体分子設計科学	2	3	命医科学実習Ⅲ は必修)
	科	臨床概論•疾病病態学	2	3	(み先川多)
		薬理学	2	3	
	目	生命医科学特別講義	2	3	
		生命医科学実習 I	2	3	
		生命医科学実習Ⅱ	2	3	
		生命医科学実習Ⅲ	2	4	

分)類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
	展	データ解析	2	2.3.4	
	開一	バイオインフォマティクス	2	3	
専	科ス	別表物質科学コースのコース	基幹和	計目	
	目 ^ `	別表生命環境コースのコース	基幹和	計目	10単位選択必修
門	関連科目	特講	2	2.3.4	
教	科ス	語学演習	1	2.3.4	
養	専門	生命医科学ゼミI	2	2	
食	教	生命医科学ゼミⅡ	2	2	8単位必修
科	養ゼ	生命医科学演習 I	2	3	0年世纪廖
	איז נו	生命医科学演習Ⅱ	2	3	
目	卒論	卒業研究 I	2	4	4単位必修
	論置	卒業研究Ⅱ	2	4	4年世纪19
	卒論	卒業論文	2	4	2単位必修

教職専門科目 (教員免許状取得のための科目)

科目名	単位数	履修年次	備考
教師論	2	1.2.3.4	
教育史・教育思想	2	1.2.3.4	N 164
教育心理学	2	1.2.3.4	必修
教育制度論	2	1.2.3.4	
教育課程研究	2	2.3.4	中学校の免許状を取得 する場合のみ必修
数学科教育法 I - 1	2	3.4	数学の免許状を取得
数学科教育法 I - 2	2	3.4	する場合のみ、I- 1及びI-2または
数学科教育法Ⅱ-1	2	3.4	Ⅱ-1及びⅡ-2が
数学科教育法Ⅱ-2	2	3.4	選択必修
理科教育法 I - 1	2	2.3.4	理科の免許状を取得
理科教育法 I - 2	2	2.3.4	する場合のみ、I- 1及びI-2または
理科教育法Ⅱ-1	2	2.3.4	Ⅱ-1及びⅡ-2が
理科教育法Ⅱ-2	2	2.3.4	選択必修
英語科教育法 I - 1	2	2.3.4	英語の免許状を取得
英語科教育法 I - 2	2	2.3.4	する場合のみ、I- 1及びI-2または
英語科教育法Ⅱ-1	2	2.3.4	Π-1及びΠ-2が
英語科教育法Ⅱ-2	2	2.3.4	選択必修
道徳教育論	2	1.2.3.4	中学校の免許状を取得 する場合のみ必修
教育課程論	2	1.2.3.4	
特別活動論	2	2.3.4	
生徒指導・進路指導論	2	1.2.3.4	必修
教育相談	2	1.2.3.4	光川多
教育実習の研究	2	4	
教育実習 I	2	4	
教育実習Ⅱ	2	4	中学校のみ必修
教職実践演習	2	4	必修